

議員定数等調査研究 特別委員会会議録

令和5年3月14日(火)予算特別委員会終了後
小美玉市役所 3階 議会委員会室

小美玉市議会

議員定数等調査研究特別委員会

令和5年3月14日(火)
予算特別委員会終了後
議会委員会室

1 開 会

2 委員長あいさつ

3 協 議

①委員会の今後のスケジュールについて

②視察研修について

③その他

4 閉 会

出席委員（9名）

1番	山崎晴生君	6番	島田清一郎君（副委員長）
7番	鈴木俊一君	8番	村田春樹君
10番	石井旭君	11番	谷仲和雄君
12番	長島幸男君	13番	岩本好夫君（委員長）
14番	福島ヤヨビ君		

欠席委員（1名）

9番 植木弘子君

◇

議会議務局職員出席者

局長	戸塚康志
書記	深作治

午後 3時55分 開会

○副委員長（島田清一郎君） 皆さんお疲れさまです。それでは、議員定数等調査研究特別委員会を開会いたします。

最初に、委員長挨拶、岩本委員長お願いいたします。



◎開議の宣告

1. 委員会の今後のスケジュールについて

○委員長（岩本好夫君） 2日間の予算特別委員会のあとお疲れのところ、ご参集いただきまして、誠にありがとうございます。

早速、委員会にかかりたいと思いますよろしくお願いします。

○副委員長（島田清一郎君） 委員会の議事進行は委員長が行います。よろしくお願ひします。

○委員長（岩本好夫君） ただいまの出席委員は9名です。定足数に達していますので、開会いたします。

資料の方はあらかじめスマートディスカッションの方に入っていると思いますので、ご用意は大丈夫ですか。

それでは協議に入ります。

一番項、委員会の今後のスケジュールについて。

これ、スケジュールの資料の方に、今、私らが開催している委員会と、前回平成27年度の時の委員会かな、書いてあるんですけど、今日が3月の14日、ですから第3回目ね。6月の定例前に研修のほうをしてと思っているんだけど、まず、最初の委員会の時に、各々委員の皆さんの個人的な見解を伺いました。それからそれぞれに調査研究はしていると思うんだけど、その定数であったり、あとは報酬のほうも、要するに、大体人口とか面積で大体8割程度は決まりますよっていうこと、ただ2割はそういう各自治体の特徴、議会の特徴があると思うんで、そういったものを調査研究していきたいということで始まったんだけど、まず、今後のスケジュール、皆さんからご意見があればっていうことで、まず、研修行かないとあれなのかなと思うんだけどどうなのかな皆さん、ご意見あれば。大まかなこういうスケジュールでってことは書いてはあるんだけど。

長島委員。

○12番（長島幸男君） これ、ポロポロあっておかしいけど、ちょっと前のあれは決まっているんだかどうかわからないけど、私わからなかったんですが、これいつまでに、その期限例えば11月に改選がありますよね、ですから11月までにとということなのか、そこらへん私もハッキリ記憶が薄れているのですが。

○委員長（岩本好夫君） これは11月に改選がありますから、9月の定例には上程しないといけない。どんな方向性になるかこの委員会の中で決まったことを。

まず、委員会の一存では無理だから、全協のほうに報告をして、それで全議員の意見ももらってということになると思うんだけど、であれば、6月の定例中にはある程度の方向性が決まっていて、そのあと煮詰めて9月の定例の時には初日にはもう全協でしっかりと報告できるような感じ。その中で各議員さんの意見をいただいて、その後定例会中に委員会を開いてそれで結果が出せれば出すというような形になると思うんだけど、11月に改選があるから、それしかスケジュールはないね、きっと、委員の皆さんどうでしょうか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（岩本好夫君） であれば、スケジュールは概ねそういった形で進めさせていただくということ。協議事項これは閉じさせていただきます。



2. 視察研修について

○委員長（岩本好夫君） 研修になるんだけど、前回ちょっと委員がね皆さん議会が入っちゃったんで、そんだけ欠けた人間ではちょっと難しいなと思って、こっちの判断で中止させてもらいました。6月の定例にしっかり協議できるようについていうことは、研修その前に行って、研修に行けば報告書皆さん書くと思うんだけど、その中に、要するに研修で見た、感じた自分の定数や報酬に関する意見を上げてもらって、それを私と副委員長、あとは事務局でちょっと協議をして、それで6月の定例にまずどんな形で委員会を開催するかって形が一番いいと思うんだけど、いいですかそんな感じで。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長（岩本好夫君） であれば、今3月ですから4月、5月の間に行かなくちゃならないんで、研修先もし皆さんの方でこういうところって候補があればね。近場にこだわらずそのしかるべきところで研修したいと思うんですよ。定数と報酬について。だから、もし皆さんの方で候補するところがあればご意見いただきたいんだけど。

石井委員。

○10番(石井 旭君) 前はね、常陸太田と三春ということだったんですが、4月、5月でね受けてもらえるかわからないんですが、そういったことと、今、委員長が言われたように、そこにこだわらずにねというお話が出ましたので、たまたま1月に総務常任委員会で行った兵庫県小野市も大体5万人で、16でしたかそういう、たまたまねそういうところがあったり、行ってきた。その後皆さんも調べたりしてると思いますので、場所的にはできれば委員長、副委員長で決めてもらえれば、そこに行きたいと思いますのでよろしく願います。

○委員長(岩本好夫君) 今、石井委員のほうからそういう意見でましたけど、よろしいですか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長(岩本好夫君) そしたらそういった形で、正副委員長と、あとはもう事務局のほうで調整してもらって、相手方もあるので、だから、4月、5月のうちについてということしか決められないと思うんだけど、そんな形でいいかな。なるべく、例えばゴールデンウィークとか避けてね、皆さんが出やすい時期を設定するつもりでいるんだけど、だから、その辺のところは一任させてもらってよろしいですか。

〔「異議なし」の声あり〕

○委員長(岩本好夫君) 研修のほうは4月か5月で、それで研修先のほうも、正副委員長と事務局のほうに一任していただくということで、よろしいですか。

〔「異議なし」の声あり〕

島田副委員長。

○副委員長(島田清一郎君) 研修に行くんですけども、ある程度研修の目的というものを上げてもらうとありがたいんです。それに沿った形で研修の先を私たちが研究していきたいと思うんで、私たちは全員協議会の中に、こういうことを研究しました、あるいはこういう成果で結論まではいらないんですけど、やってきましたっていう報告しなくちゃならないんで、勉強するにはこういうところがあつたらいいなっていうのを提案していただけるとありがたいのですが。

○委員長(岩本好夫君) 鈴木議員。

○7番(鈴木俊一君) 同じぐらいの人口ぐらいで、それで実際にこの数年間ぐらいで削減したところが理想だと思うんですが、と同時に、同じような減らしたとこばかりも比べられ

ないんで、話し合ったけどそのままだったっていうようなところも近くにあったりして、両方を比べて見るのに同じぐらいのところがある、維持した話あったけど維持したというところも勉強させてもらえるといいかなと思います。

○**委員長（岩本好夫君）** そうだね。目的っていうのは定数と報酬のほうを調査研究する委員会だから目的はそこだと思うんだけど、であれば鈴木委員の言ったように、定数を減らすところと、あとは現状維持のところを研修して、当然そういうところは報酬も話聞けると思うんだよねそうなってくると。定数減らしたところは減らす前、定数減にする前の報酬どうだったんですかと、減らした後はどうだったんですか。あるいは現状維持で定数やったところは、報酬のほうはどうなんですかということも、一緒に報酬だけの研修って難しいと思うんだよね。だから定数のほうで減らしたところ、それと現状維持であったところ、そういうところを正副委員長で探して、あとは規模が近いところが一番いいと思うんだけどね、報酬も絡んでくればやっぱりね、そういうところでいいですか副委員長。

○**6番（島田清一郎君）** はい。

○**委員長（岩本好夫君）** 目的はそういったところで、今、鈴木委員から出たように、研修先も定数を減らしたところと、であれば現状維持でやっているところ、定数を減らした理由とか、減らさなかった理由と、あと報酬についてもこっちのほうからあらかじめ質問は向こうに出すからね。その中に入れさせてもらう形で研修できればと思うんですけど、いいですかそんな感じで。

〔「異議なし」の声あり〕

○**委員長（岩本好夫君）** どこかありますか。連絡もらえれば自分でも探してはみますけど、もし委員さんの中で何かあったら、私の方でも事務局のほうでもいただければ。まだ4月、5月の話なんで、まだ少し余裕がありますから、そういったところで皆さんの意見も取り入れながら進めていきたいと思います。

◇

3. その他

○**委員長（岩本好夫君）** では、研修についても、協議事項決まったので、あとはその他、何か皆さんからありましたら。

今、副委員長からあったように、6月定例会前には研修終わっているはずなんで、第1回目の報告としてこういう研修して、こういうことを協議していきますぐらいのことは全協の方で6月の定例あたりのときには報告したいと思うんですけど、どうですかね。

〔「はい」の声あり〕

○委員長（岩本好夫君） そのぐらいの報告ぐらいしないと、こういう委員会を何回開催してこういうことを協議して、そしてこういうところで研修してきて、こういう成果がありましたぐらいのことを6月の定例で報告したいと思います。

その他皆さんからなければ、大丈夫ですか福島さん。

○14番（福島ヤヨヒ君） はい。

○委員長（岩本好夫君） 事務局大丈夫かな。

〔「はい」の声あり〕

○委員長（岩本好夫君） 他になればこれで委員会終了いたします。

副委員長お願いします。



◎閉会の宣告

○副委員長（島田清一郎君） 以上で議員定数等調査研究特別委員会を閉会いたします。お疲れさまでした。

午後 4時08分 閉会